
ぱりん！！

蒼山

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ぱりん！！

【著者名】

NZマーク

N8305D

【作者名】

蒼山

【あらすじ】

クスリにハマる高校生の俺。最近はバッドトリップが多いがそれでもやめられない。そんな俺は今日もクスリでブツ飛ぼうとする。

……毎日がダルい。今日もダルい。

学校にも行きたくない。

人とも喋りたくない。

他人とかかわりたくない……。

いつもこんな気持ちじゃ、永遠にバッドトリップだ。

……と、わかつていながらも、今日も俺はこの白い粉のお薬を飲む。センター街にいる黒人のやさしいおじさんからもらつたんだ。とっても楽しいきぶんになれるんだ。

つていうか一言で言うと麻薬なんだ。

だからね、僕ね、見つかるとね、捕まるんだよゴルアアッ！

……まあ、幻覚剤だ。

幻覚剤による幻覚はそのときの心理状態に左右される。

負の感情、たとえば悲しいとか死にたいとか、そんな状態で服用するとバッドトリップを引き起こしてしまつ。

今の俺はまさにモロ負の感情に支配されているのだが、もひつ薬をやらずにはいられない。

中毒ではないが……。

中毒か？

俺は自分の部屋の壁の大きな鏡の前に座つた。大鏡か。四鏡の最初の作品だつたか、たしか。トリップしているのになぜこのような思考が出来るのか不思議に思つた。

るって、わかってるだろ？」「

「イミわかんねえよ。もういい。イヤだ」

「やうやうして、すぐ弱音吐くだろ。弱音を吐く度にカウンターを押すと、一日で数字はゼロから一へつにまで膨らむと思つ?ま、お前のことだから考えるのも嫌だろ」

「…………黙れ」

「今すぐこの鏡の前から立ち去りたいだろ。今すぐこの鏡を割りたいだろ。自分のことが好きじゃないって、実は大嫌いだつて、わかつてんだろ？消えたいと思つていいけど消せない、この臆病者めが！」

「黙れっ！」

ぱりん！

…………なあ、これからどうすればいいんだよ。

俺は割れた鏡に向かつて訊いた。

歪んだ俺は、何も答えなかつた。

(後書き)

どうも。かなり久しぶりの投稿です。蒼山です。
ええと……とりあえず、あんなクリアなトリップはまずありえませんから。ご注意を。

つてゆーか首がめっちゃ痛いです。

カラオケ行つてホルモン歌いながらヘッドバンギングしたからかな
ヘッドバンギングってやつてる間はアドレナリンだだ漏れで全く痛くないんだけど終わった後に首に激痛がはしるね。アレね。
何の話だろうね。
すみませんキモかったです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8305d/>

ぱりん！！

2010年12月14日21時50分発行